

明石通信

(2001年1月1日号)

明けましておめでとうございます。

右に今年の年賀状(縮小)を添付します(住所変更有)。

昨年はミレニアムの年「何か記念を残しておきたいな」と軽い気持ちで明石通信に書きましたが、「サポートセンターあおぞらの街がNPO法人になる」など、辰年に相応しい飛翔の1年でした。昨年の明石通信の2回の発行後、書き留めきれない位の出来事がありました。表裏2面、近況報告もかねて書いてみます。

では最初にNHKの話を。好評だったNHK総合TV「新日本探訪;笑顔で街に暮らす」の続編として、2月20日に「列島スペシャル;お仕事がんばります」が放送されました(50分)。これが前作以上に反響が大で、感想の他、講演依頼や取材依頼(外国の放送局や週刊誌等)、又留守電やFAXで子育て相談もあり、嬉しい悲鳴を上げてます。熱心な視聴者のNHKへの要望で、新日本探訪は3回、列島スペシャルは6回も再放送がありました。各地で、ダビングしたテープが「すり切れる程」何度も映写されているよう、皆様の地域での、真のノーマライゼーションの定着に、お役に立っているよう嬉しく思っております。予定外の吉報も飛び込んできました。実は「お仕事がんばります」が2000年度地方の時代映像祭の第20回「地方の時代賞」映像コンクールに入賞(審査委員会推賞)したのです。7月までの1年間に、NHKや民放、自治体等、全国の各放送局で放映、制作された作品が対象の映像コンクール。番組のスタッフも「この1年間、NHK首都圏で制作放送した数多くの作品の中から代表になれたこと自体嬉しい、更に外部の賞をとったのも初めて」とのことでの大喜び。感動が再び蘇りました。入賞後、民放でもNHKのこの番組が放送されましたよ。

さて良い事ばかりではなく、健康を過信していた私は、4月に入院(手術も)していました。子育てのご相談等に電話や手紙で夜遅くまで返事をしながら(若いお母さん方との交流は、私の価値観や視野を広げて、勉強にもエネルギーにもなっています!)、ひと月に講演10回なんて無茶をして睡眠不足で体調を崩してしまいました。4月以降の講演をキャンセルしたり、お約束の原稿も書けなかったりと、皆様にご迷惑とご心配とをおかけしてすみませんでした。今はすっかり元気です。ご安心下さい。

(ふどう社の原稿全く書けませんでした。ごめんなさい!。21世紀には。。。)

謹んで初春
お慶びを
申し上げます

お健やかに新年をお迎えの事と存じます
本年も幸多き年でありますよう
心よりお祈り申し上げます

平成13年 元旦

転居しました

〒210-0844

川崎市川崎区渡田新町2-2-20

ライオンズガーデン川崎702号・703号

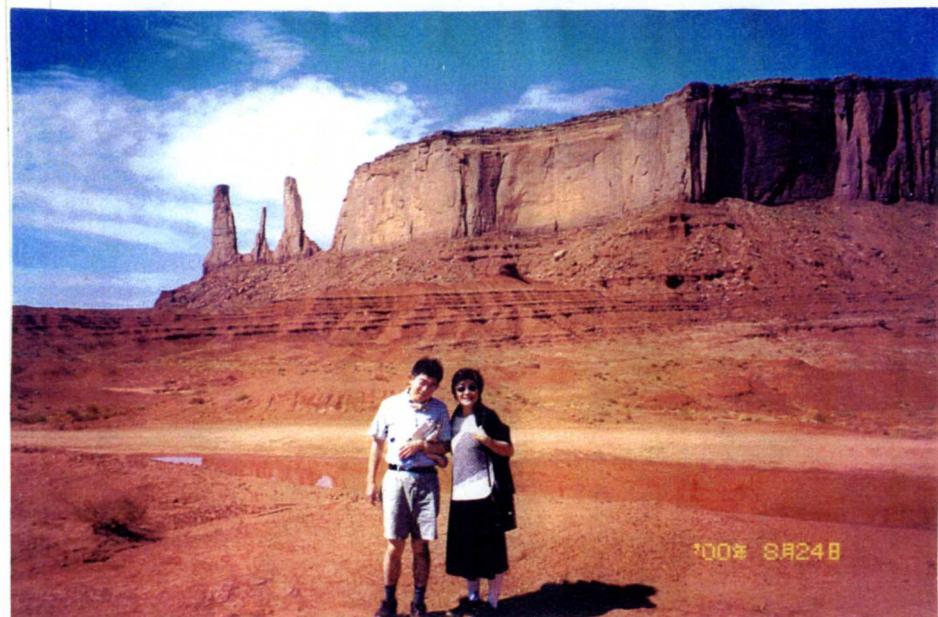
電話 044(366)6002

FAX 044(366)6492

明 石 邦 彦・洋 子
徹 之・政 嗣



さて次は17日間のアメリカ旅行の話。病み上がりしかも初めての外国旅行なのに、勉強、観光、講演と欲張りました。8月14日シカゴ経由してノースカロライナへ。服巻智子さんの案内で、T E A C C H の本家を3日間見学して（3泊して）、ダラス経由で



「駅馬車」でおなじみのモニュメントバレー

ラスベガスへ。そこでレンタカーを借りて、8日間の西部冒険旅行へ出発。グランドキャニオン、ブライスキャニオン、レイクパウエル、モニュメントバレー、フーバーダム、拉斯ベガスとドライブしました。自然の営みの神々しさに、感動という言葉では表現できないほど、魂が洗われると言うか、心が揺さぶられる思いがしました。（写真が余りに美しかったので「秋山庄太郎・写真道場」に応募したら、選ばれて直筆サイン入りの講評を頂きました。「遺跡」と勘違いされた位の「自然の造形美」のブライスキャニオンでした）。その後ラスベガスから空路カルフォルニア州サンノゼに。ウエストバレーカレッジでの講演は、予定の2倍の200名を越える参加者があり、座席と資料が足りなくなる位好評でした。北米毎日新聞に講演の記事が2回も載ったそうで、主催者は大喜び。レセプションでは徹之はアイドル並みの歓迎で、素敵なガイドさん付きのサンフランシスコ観光もプレゼントされました。又来てくださいとのこと、私の原稿やNHKの映像の台詞を英訳して下さいました。素晴らしい仲間に出会えた最高の旅でした。

この17日間の旅程はハプニングの宝石箱。飛行機が飛ばなくて途方に暮れたり、真っ暗闇（しかも雷）の中のドライブでロッジがわからず迷ったり、車がパンクして立ち往生したり。。。予定を知りたくて「○時に着きます」と言う言葉で、不安を訴える徹之でしたが、誰にも予測できない不可抗力、彼なりに工夫して、気持ちをコントロールしておりました。新しい体験が彼を日々成長させたようです。いつ飛ぶかわからない空港で、いつもはさっと居なくなるのに「お母さんここで待っていて下さい。徹之はトイレに行ってきます。」と必ず私の居る場所を指定して1つ1つの行動を確認しておりました。日本では相変わらずの鉄砲玉ですけど。。。



サンフランシスコ
のPIER 39

次に特記すべき貴重な経験は、「第84回日本小児精神神経学会」の特別講演（しかも公開フォーラム）をした事です。ノーベル賞の白川秀樹名誉教授の講演会場でもあった、筑波大大学会館講堂で、お医者さんの研究や実践の発表の場である「医学会」での特別講演です。学会の抄録集にも大会会長が「初めての試み」と書かれており、講演する事に少しは慣れてた私でしたが、とても緊張し、何を話したか思い出せない位です。でも今回もレセプションでは徹之は又々アイドル。先生方から、「ここにサインして」「一緒に写真をとろう」など言われて、笑顔いっぱい応えていました。徹之は自分を認めて受け入れてくれるかどうかには敏感ですから、とても嬉しかったようです。講演後先生方からお礼や激励の手紙、また著作の本等送ってられたり、講演の依頼も頂いたりして、また私の視野と世間が広がりました。徹之のおかげで、1つ1つが私の生涯学習の場になっています。

サインと言えば4月放送の「天使が消えた街」のドラマの主人公の4名（藤井フミヤ・^{酒井}堂本光一・酒井典子・内田有紀さん達）からサインの色紙を頂きました。写真付きのサイン色紙を下さったノリピーが大好きな徹之はもちろん、ミーハーの私も大喜びです。実は河野プロデューサーから、2月3日突然電話が入り、徹之のVTRと資料を貸りにこられました。ドラマの中に結構徹之のエピソード（お仕事頑張りますの台詞、水や自転車や絵が好き等）入ってましたね。筋は全く違いますけど。昨年は相次いで何故か自閉症がドラマ化。4人の有名な芸能人から「明石徹之さんへ」というサインは、ドラマのVTRとともにいつまでも大切な記念になります。そういえばもう1つのドラマ、ともさかりえさんが演技の勉強をされた岐阜の親の会からも講演依頼が来ました。ただ先約の埼玉のLD児の親の会の講演日と重なっていたので無理でしたが、「小児精神神経学会」の時、辻井正次先生からも依頼されており、是非お会いする機会を作りましょう。NHKの放送のおかげで、多くの仲間や専門家や支援者の方々と出会え、支援のネットワークがどんどん広がっていって、嬉しい限りです。

さて昨年の明石通信でチャレンジ宣言した、英会話教室の方は、挫折しております。今回のアメリカ旅行も、ほとんど耳より、視覚的な手掛かりでのコミュニケーションでした。中学高校大学と10年間も英語を勉強したのに、買い物すらドキドキ。十分に正確に伝えられず、つい「まあ、いいか」と諦めてばかり。自分の気持ちを自分の言葉で伝える事ができなくてストレスがたまって、つくづく徹之始め自閉症の方々の気持ちを痛感しました。英会話上達法教えて下さい。早く簡便な通訳機が開発されないかなあ。でも機器に頼ったら心が通じないかな？でも英会話をマスターするより機器のほうが早そうです。



もう1つのチャレンジのパントマイムの方は、5月に山梨県の琴川幸の家オープンの竹舞台のこけらおとして、徹之は初舞台を踏みました。主催者の「小さなうつわの会」の川生さんが、「偶然見た」NHKのTVですっかり徹之のファンになり、「こけらおとしなくて全く無理です」と何度も断る私に、「徹之さんが来てくれるだけでもいいから」とくどかれ、数々のご配慮のもと「てっしーのピエロショー」が実現したのです。思いがけず、新しい素晴らしい経験が出来ました。今後隠れた才能が開花するかも?徹之の望む「演劇スタッフ; てっしーず」の実現も夢ではないかな?。

これを書いていたら、宅急便がきました。12月15日に行った、宮崎市育成会主催の講演会の新聞記事とアンケート結果がお礼状に同封されました。150名の参加者から「元気をもらえた」等の感想をいただくと、「行ってよかったなあ」と、アンケートを読みながら私こそ元気になります。「明石さんの元気の元は何ですか?」とよく聞かれますが、我が子の笑顔と、このように同じ思いを持つ共感しあえる人や温かく支援してくれる人の存在でしょうか。人との関係でつらい事があるても、それが癒され元気になるのも人との関係ですね。お金や物ではありませんね。心が通いあう事が1番の栄養です。徹之のおかげで、人という財産をいっぱい貰えて、感謝!!それをエネルギーにして、我が子を理解してもらうため、心のバリアフリーを目指して、今年もまた楽しく頑張りましょう。本年もどうぞよろしく。



「箱」のパントマイム

ピエロのてっしーです!
素顔の徹之(静止画像はいい男!)

